

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第二次安倍内閣が発足して以来、七年八か月にわたり、内閣官房長官として、総理の下で、日本経済の再生、外交・安全保障の再構築、全世代型社会保障制度の実現という、この国の未来を左右する重要課題に取り組んでまいりました。

今年に入ってから、新型コロナウイルス感染症の拡大という、かつてない事態に直面する中、感染拡大防止と同時に、社会経済活動を再開させていくという課題に、真正面から取り組んでまいりました。こうした中で、陣頭指揮をとってこられた安倍総理が、道半ばで退かれることになりました。総理の無念の思いを、推察いたします。

しかし、この「国難」にあつて、「政治の空白」は、決して許されません。この危機を乗り越え、国民の皆さまが安心できる生活を一日も早く取り戻すために、一人の政治家として、安倍政権を支えてきた者として、今、なすべきことは何か、熟慮してまいりました。

そして私は、自由民主党総裁選挙に立候補する決意をいたしました。安倍総裁が、全身全霊を傾けて進めてこられた取り組みをしっかりと継承し、さらなる前進を図ってまいります。そして、「自助・共助・公助」を基本とする国づくりのために、私の持てる力の全てを尽くす覚悟です。

皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

謹白

令和二年九月吉日

衆議院議員

菅 義偉